# 住み良いまちづくりを！

## 一般質問

質問は9月10、13、14日の3日間行われました。
（質問の順序は抽選で決められます。その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

## ドーム型巨額施設は不要
### 財政状況を勘案し計画する

**橘　雄介　議員**（21市民の会）

❶全天候型ドーム建設は市民の理解を得ない多額支出で不要だ。公共事業市民選択権条例を。生涯学習センターにホールと美術、郷土資料館を。

三山木駅周辺に南部住民センターと市民学生交流館を。音響効果の良い小規模ホールを駅前に。

**市長公室長**　選択条例は市民参画の参考に。歴史民俗資料館は検討。学生交流施設は考えない。

**教育部長**　全天候型施設は要望がある。小規模音楽ホールは考えない。

❷洪水や地震の防災と安全策の説明会と避難訓練を。木津川の氾濫より内水害の危険へ地域体制と告知、道路標識など情報を。雨水貯留池の計画を。同志社天神山急傾斜地の危険性の解消を。

**総務部長**　防災説明会、避難訓練は実施。道路表示、雨水貯留池は検討。

**建設部長**　天神山造成地は府と協議し指導。

❸農と食と緑の再生に、農業者と消費者の協働イベントを。緑保全と再生条例の検討を。地産地消の給食、食育を。有機農産物生産と土再生に生ゴミ、剪定枝の堆肥化を。

地域農業グループの再編と新規参入公募支援を。

**経済環境部長**　地産地消を協議。土づくりに剪定木チップを配布。農業祭など今後も開催。

**教育部長**　地元産の給食活用を進める。

全天候型施設の建設が予定されている一丁田池

**建設部長**　私的財産の自然林保全は困難。

❹行政改革と市民参画へ意欲を。まちづくり基本条例、パブリックコメント、市民委員会や行政パートナー、ワークショップなど市民参画策を。入札制度の早期改革と行政評価、外部監査制度を。ゴミの非焼却を検討し、環境基本計画の見直しを。

**市長公室長**　市民参画を進め、行政評価は導入。

**市長**　まちづくりは株主市民に良い形の配当を。

**建設部長**　入札改革は引き続き研究検討。

**経済環境部長**　非焼却施設の導入計画はない。

## 地域づくりに財政支援を
### 広範囲な検討で研究する

**井上　薫　議員**（共産党）

❶市のまちづくりは、都市像の形成と土地利用構想や交通網の整備などを定めた都市計画マスタープラン、総合計画等があるが、地区の資源や条件を見出し、具体的な方針、計画、解決すべき政策課題を明らかにした地区計画を策定することが重要である。この計画は、地域住民が主体となってワークショップ方式などを行うなかで住民の手による地域づくりができると考える。そして総合計画を補強するものと位置づけ計画づくりに市からの財政支援、市職員、専門家の支援などを内容とした条例を定めることを提案する。

**市長公室長**　地方分権の時代において、行政と市民がそれぞれの役割と責任のもとで有機的に協働、連携を図りながらまちづくりを推し進めることが必要と認識している。

区、自治会は住みよい地域社会を築いていくための最も基礎的な組織であり支援していきたい。指摘の財政支援などを含む条例については、市民参画に関する広範な検討で慎重に研究したい。

❷新しい農業情勢の中で農業振興に元気に取り組むところも生まれている。その基本は、高齢者や女性、中小農業を大切にし知恵や意欲を引き出している施策が行われている。農業水田ビジョン等の策定には、集落懇談会、アンケートなど農家の声を聞いて行え。

**経済環境部長**　農業水田ビジョン等の策定、見直しは、市農業振興協議会等に諮り協議している。

基本構想自体は、効率的かつ安定的な農業経営を育成し、農業経営が地域の農業生産の相当部分を担う農業将来展望を明らかにしたものである。

今後この構想を達成するため、認定農業者の掘り起こしなどを進めるとともに土地利用型作物の地域農業システムづくりを推進したい。

第３次市総合計画策定に向けた住民懇談会（山本構造改善センター）

## 住宅耐震診断実施を
### 他市町の状況を調査

**青木　綱次郎　議員**（共産党）

❶国民健康保険特別会計について、市は今年初めに一億九千万円の赤字になり、17年度の国保税引き上げはさけられないとしていた。しかし15年度国保会計決算は千八百万円の黒字となった。市は市民の国保税負担を抑える努力を真剣にしてきたのか。「事あるごとに引き上げを示唆する市の態度は問題だ」と指摘する声もある。国保税を引き下げるべき。医療費一部減免制度は、府内の市で未実施は京田辺市だけ。直ちに実施せよ。

**助役**　国保会計決算の医療費総額は前年度比五億円増となったが、滞納整理の増収や一般会計からの繰り入れ増で黒字となった。医療費一部減免は、国へ財政支援を要望しており、今後さらに検討を進めたい。

❷防災対策㋐府の地方機関再編で災害時の府対策本部は宇治市に置かれる。京田辺市に本部を置くよう府へ要望すべき。

木造住宅が建ち並ぶ市街地

㋑災害発生時の医療体制の確保は。ハザードマップにある危険箇所区域への対策は。㋒建造物防災の強化、宇治市のように無料住宅耐震簡易診断の実施など啓発促進を。

**総務部長**　㋐田辺の方が著しく大きな災害であれば府の対策本部も田辺に置かれるものと考えている。㋑災害時の医療体制は綴喜医師会と協定を締結。必要であれば八幡等からも応援を受けられると考えている。危険箇所は府が表示したもので、危険度の調査を検討する。危険箇所を抱える地域へは訓練を要請した。

**建設部長**　㋒住宅耐震診断について、近隣自治体の取り組みを調査、把握し、研究、検討する。

❸市役所周辺地域への公共交通機関によるアクセス改善を、市の責任ですすめるべき。

**経済環境部長**　バス利用者が減少傾向にあり増便は難しい。道路整備完成を機に改めて巡回バス等について協議したい。

## 議会日誌

【8月】
4日　第1回臨時会〈議案上程〉
5日　建設経済常任委員会・協議会
6日　第1回臨時会〈議案採決〉
30日　議会運営委員会

【9月】
2日　議会運営委員会・幹事会
6日　第3回定例会〈議案上程〉
10日　第3回定例会〈一般質問〉
13日　第3回定例会〈一般質問〉
14日　第3回定例会〈一般質問〉
15日　議会運営委員会
16日　総務常任委員会・協議会
21日　文教福祉常任委員会・協議会
22日　建設経済常任委員会・協議会
27日　議会運営委員会
29日　議会運営委員会
28日　第3回定例会〈議案採決〉

【10月】
13日　広報編集特別委員会（15、22日）
18日　決算特別委員会
19日　決算特別委員会
21日　決算特別委員会
26日　決算特別委員会
28日　全国都市問題会議（～29日）

（以上主なもの）